

また、広島TLOにおいては、県内の各産業支援機関などのコーディネータ等との連携によりコーディネート機能の拡充を図ることとしているが、特に研究成果活用プラザ広島の科学技術コーディネータとは、強固な連携体制を構築し、地域産学官の交流促進をはじめ、大学等の研究成果の掘り起こしから育成・活用のための各種支援事業等を一体的に展開することにより、より一層の効率的・効果的なコーディネート活動の推進に努める。

## 2. 都道府県関連事項

### (1) 都道府県が推進する「研究開発コーディネート機能」の整備について

#### ① 総合的コーディネート機能の整備方針

本県では、産業の再生と自立的発展を図るため、『産業活動を支える基盤の整備』を重点プログラムとして掲げ、「研究開発・技術開発拠点の形成」及び「研究成果の技術移転の推進」等の施策展開により、総合的な研究開発コーディネート機能の整備・強化を図ることとしている。(県政中期ビジョン ひろしま夢未来宣言)

具体的には、広島県産業科学技術研究所において、科学技術振興基金を活用した先導的で即効性のある研究開発を推進するとともに、知的クラスター創成事業によるライフサイエンス分野の研究開発に取り組むほか、研究成果活用プラザ広島など、国の研究機関等との連携により、広島中央サイエンスパークを中心とした研究開発の活性化を図っている。

また、広島TLOを中心として、研究成果活用プラザ広島や地域プラットフォーム体制との連携により、県内の大学及び広島県産業科学技術研究所等における研究成果の民間等への移転・事業化を推進している。

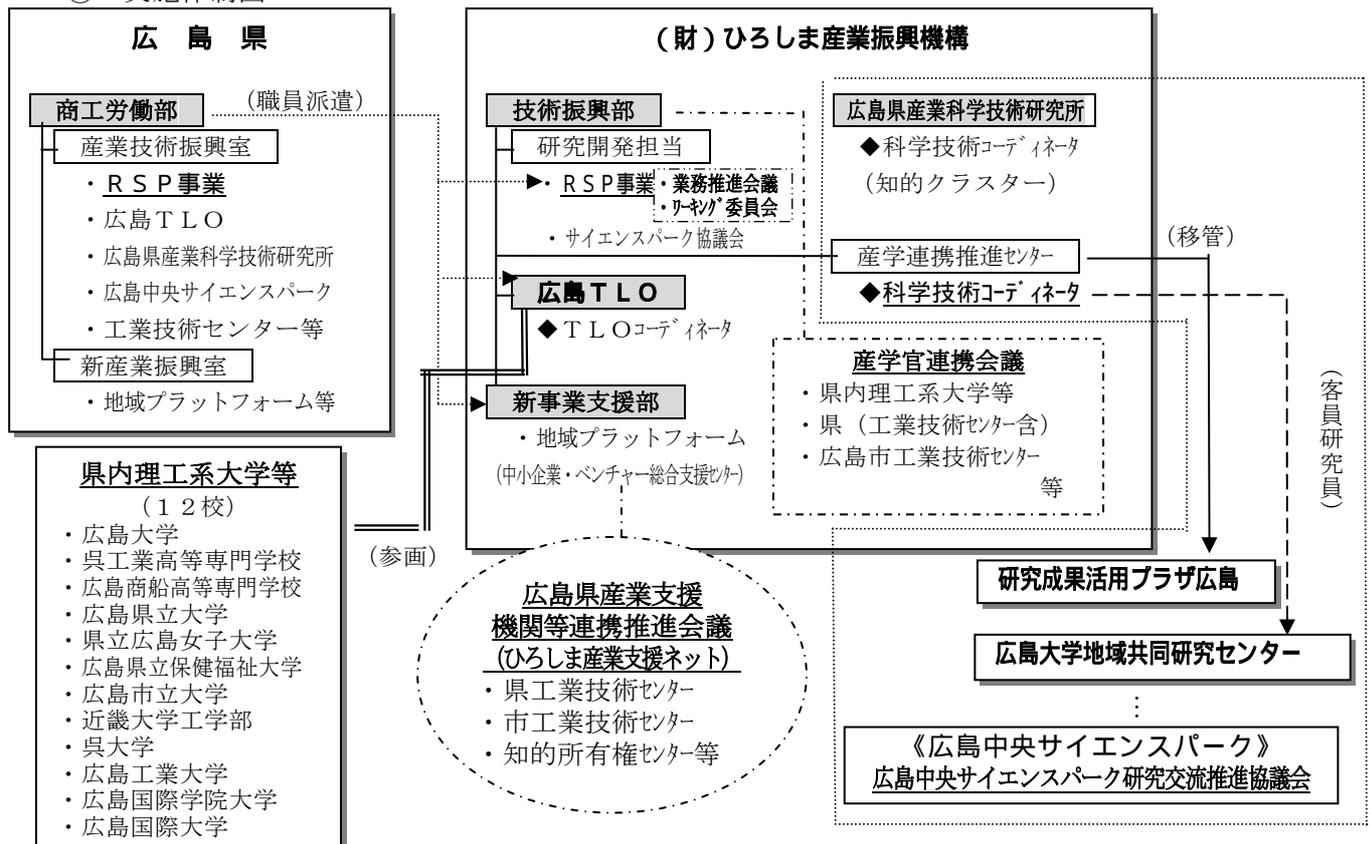
#### ② 上記の整備方針におけるRSP事業の位置付け

本県の総合的な研究開発コーディネート機能の整備方針の実現に向けて、RSP事業はその先導的な中核事業と位置付け、5年間推進してきた。

本県の研究開発コーディネートについては、現在、広島TLOを中心に展開しているが、RSP事業は、広島TLOの設立に当たり、大学をはじめとする産学官全体に及ぼす意識醸成の面において、大きな役割を果たしたと言える。

また、今後も、RSP事業により産振構に蓄積された研究成果の発掘・育成等のノウハウは、広島TLOの事業展開及び広島県産業科学技術研究所の成果展開など、本県総合的な研究開発コーディネート機能の整備・強化に大いに役立つものと期待している。

#### ③ 実施体制図



## 研究開発コーディネート機能の整備状況と将来像

### 【整備状況】

#### 広島TLO

中核的支援機関である産振構内に広島TLOを平成15年4月に設立し、県内理工系大学等の研究成果の地域企業等への技術移転、産学共同研究のコーディネート、移転先企業の事業化などを促進している。

<概要> ・承認TLO：平成15年10月に国から承認を受ける

・参加大学等：12校（平成15年3月現在）

\*各大学等へ連携窓口を設置することにより、学内における円滑なコーディネート体制を整備

#### 広島県産業科学技術研究所

本県における次世代産業の創出や既存産業の高度化を促進するための基礎的・先導的分野の研究開発拠点として、平成10年4月に開設し、文部科学省の「知的クラスター創成事業」等の研究開発プロジェクトを実施している。

また、知的クラスター創成事業において、3名の科学技術コーディネータを配置し、研究成果の事業化に向けたコーディネート活動を展開している。

#### 地域プラットフォーム体制

新事業創出促進法にもとづき、産振構を中心に、県内の産業支援機関と密接に連携し、研究開発からその成果を活用した事業展開に至るまでの一貫した総合支援体制（地域プラットフォーム）を構築している。

<主要事業> ・中小企業・ベンチャー総合支援センター事業

・新事業支援施設一体型総合支援事業

・産学連携事業

・技術研究開発調査委託事業

#### 産学官連携会議

大学等及び行政、産業支援機関等のより一層の連携のもと、産学共同研究等の事業の推進により、地域産業の高度化や新産業の創出を図ることを目的に、平成11年7月に設置し、技術コーディネータを窓口とした大学間の調整や産業界への産学官連携に関するPR等を行っている。

<構成> 県内大学等（12校）、産業支援機関（研究成果活用プラザ広島など）、行政（県、県立工業技術センター、広島市工業技術センター）

\*オブザーバー：中国経済産業局・広島商工会議所等、事務局：産振構

#### 広島中央サイエンスパーク研究交流協議会

広島中央サイエンスパーク内に立地する研究機関等の研究交流や県内産業への技術波及等を促進するため、「広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会」を平成8年6月に設立し、サイエンスパークに立地した異分野の研究機関相互の高度な技術の交流を図るとともに、地域の企業や公設試験研究機関等との人的交流・情報交流を促進している。

<主要事業> 施設一般公開事業、インターンシップ事業、共同研究調査企画事業

#### 研究交流組織「サイエンスネットひろしま」

研究開発分野や組織を越えたネットワークとして平成10年2月に設立し、地域全体の研究開発能力の向上と産業の創造的発展を目指し、相互の交流や情報の共有化を行うなど、県内の研究者の連携を図っている。（登録会員数：約1,100名）

### 【将来像】

広島TLOを核として、研究成果活用プラザ広島や広島県産業科学技術研究所、地域プラットフォーム等との連携、一体的な事業展開を図り、研究成果の発掘・育成から、技術移転、事業化に至る一貫した支援体制を構築し、大学発ベンチャーの創出や知的クラスターの形成を先導していくべきものと考えている。

## (2) コーディネート活動の成果の活用方法

R S P事業のコーディネート活動の成果については、平成15年度中に広島T L Oへ引き継がれており、今後は、広島T L Oを中心に地域企業への展開を図る。

具体的には、広島T L O自ら権利化を行い、あるいは大学保有の権利の包括委任を受けて、地域企業への技術移転を推進するほか、広島県産業科学技術研究所や研究成果活用プラザ広島における事業展開につなげていく。さらには、R S P事業からJ S Tを通じて出願されている案件についても、地域企業のニーズに応じ、広島T L Oにおいて技術移転を図るなど、本県産業の再生と自律的發展メカニズムの構築を強力に推進していく。

## (3) R S P事業に対する人的・財政的支援

R S P事業の推進に当たり、連携拠点機関である産振構に、R S P事業担当として県職員1名を派遣する人的・財政的支援を行った。

また、R S P事業推進を支援するため、活動拠点(産学連携推進センター)の設置に伴う備品等整備に対し財政的支援を行った。

さらに、R S P事業の成果展開の促進にも資する「技術開発研究委託事業」を平成12年度に創設し、産振構に対し、当該事業の実施に係る財政的支援を行っている。

なお、県産業技術振興室産業科学技術グループに、R S P事業の主担当(1名)を置き、事業実施をサポートした。

## (4) 今後の展開

本県では、研究開発コーディネート機能の整備に向けて、平成8年度からネットワーク構築型、さらに平成11年度からは研究成果育成型に取り組んできた。この8年間のR S P事業の推進により、地域のコーディネート活動の中核となる「広島T L O」という大きな財産を得ることができた。

今後は、広島T L OがR S P事業により培った研究開発コーディネート機能を承継し、地域プラットフォーム体制や研究成果活用プラザ広島等との連携により、研究開発コーディネート機能の維持・発展に努める。

## 3. 連携拠点機関関連事項

### (1) 連携拠点機関で行っている「研究開発コーディネート活動」について

研究開発コーディネート活動と当該活動においてR S Pの果たしている役割

連携拠点機関である(財)ひろしま産業振興機構の研究開発コーディネート活動事業としては、産学官の連携強化事業と創業・新事業創出等の促進事業が中心であるが、大学等のシーズの育成及び技術移転を目的とする各種事業への展開支援や企業との共同研究の斡旋支援などにおいてR S P事業は大きな寄与をしている。

研究開発コーディネート活動の現状

R S P事業によるもの

育成試験については、試験終了後においても、試験成果の実用化に向け、他事業への展開や、特許化及び技術移転を支援するため、研究者との密接な連絡・相談関係を維持している。

現時点において、育成試験実施課題から起業化及び商品化につながった事例は、次のとおりであるが、その外にも、商品化前段階のレベルに達している課題が、10件程度あり、今後、早い段階で実用化レベルに達するものと期待している。

ア 起業化事例

(株)ツーセル(H11年度育成試験「軟骨誘導遺伝子を利用した自家細胞移植による軟骨/骨の再生-新規遺伝子を利用した試験管内での軟骨形成-」の成果をプレベンチャー事業へ展開し起業化につなげた事例)

(設立)平成15年4月10日